



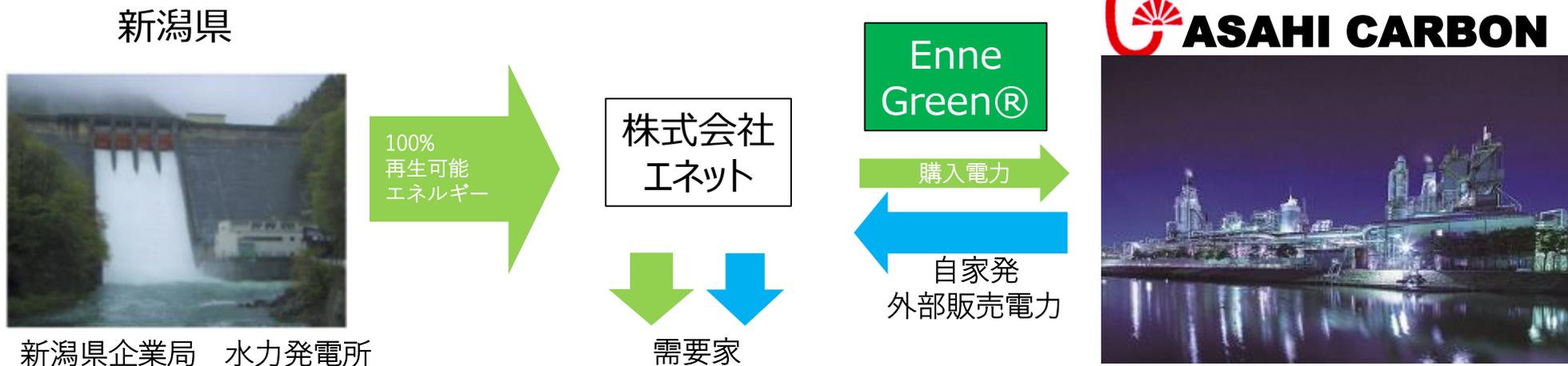
エネルギーの地産地消 購入電力100%再エネ化

旭カーボンでは、カーボンニュートラルの目標達成に向けて、CO₂排出量削減活動を推進しております。その一環として、2021年6月1日より、株式会社エネットのCO₂排出量低減メニューである**EnneGreen®**（エネグリーン）により、実質再生可能エネルギー100%の電気の購入を開始しました。

旭カーボンではカーボンブラック生成プロセスの**副生ガスを利用**した自家発電により工場に電気を供給し、余剰電力はエネット社を通じて関東地区に電力供給しています。一方で東港油槽所(2か所)および本社工場の自家発電量不足時はエネット社より電力供給を受けております。

今回の導入は、新潟県企業局の**水力発電エネルギー**をエネット社を経由し旭カーボンで受電するという**3社協業**による再生可能エネルギー**地産地消**の**新潟県内企業初のモデルケース**となります。これにより旭カーボンでは購入していた電気の**100%再生可能エネルギー化**を達成できました。

旭カーボンでは、今後も地球規模の共通課題である温暖化対策に貢献するため、CO₂排出量削減を推進します。



旭カーボン 第26回通船川沿いゴミ拾いボランティア

2021年10月21日、当社と旭カーボンロジスティクス、JR貨物様の3社合同総勢83名が参加し、線路沿い、及び工場脇を流れる通船川沿いとその遊歩道計1.6kmのゴミ拾い清掃を行いました。今回は、**可燃ごみ120kg、不燃ごみ30kg、タイヤ1本**を回収し、通船川沿いがすっかりきれいになりました。遊歩道を歩いてもゴミを見ることはなくなり、気持ちよく歩けるようになり、これまでの活動の成果を感じました。今後も活動を継続することで、工場の周辺環境をきれいに保ち、ゴミを捨てにくい雰囲気づくりを支援していきます。

